

ぼく、わたしの夏休み



8月1日から12日まで町内各所で「サマーチャレンジやまだ2012」が開催されました。これは山田町社協支え愛センター（福士豊センター長）が、幼稚園・保育園児から高校生までの学習支援を目的として開催したイベントです。支援力キョラムは18種類38教室で、約800人が参加しました。本号では、このイベントの様子を紹介します。

きっかけは保護者の一言

この夏、12日間にも及ぶ学習支援イベントを行った山田町社協支え愛センターは、山田町社会福祉協議会が主体となっている団体です。震災後に「山田町災害ボランティアセンター」としてボランティア受付などの活動をし、昨年12月に名称を現在のものに変更。現在は、被災者の生活支援や写真洗浄、環境清掃などを行っています。

同団体がイベントを企画するきっかけとなったのは、同センター職員の人である保護者からの「子どもたちの勉強する場

所や遊ぶ場所がない」という一言でした。そこで、ことしの4〜5月にかけて町内の幼稚園、保育園や小・中学校、高等学校の協力のもと、子どもに対してアンケートを実施。子どもだけでなく保護者の声も聞きたいと無記名で一緒に回答する形式で行われました。

学習・遊ぶ場所がない

アンケートの結果、学習できる場所は、子どもたちの半数が確保できていると回答がありました。これは、学習塾や町外の支援団体などにより建てられた学習施設があるためです。



①ヨガ教室で精神統一
②学習教室で問題を解く子どもたち。夏休みは遊びも勉強もしっかり③日体大生とダブルダッチ。大学生のすご技に歓声上がる④大きなテントがキャンパスに。明るい朝日に「がんばろう」という力強い言葉のアーチを描く。



「サマーチャレンジ」カリキュラム一覧

水泳教室	読書感想文サポート
学習支援	宿題サポート
登山・ユニホック体験教室	陸上教室
箸置き・小物入れ教室	ダンス教室
工作教室	ヨガ教室
餃子教室	プレーパーク教室
音楽教室（バグパイプ教室）	宿題サポート
美術教室	天体観測教室
ダブルダッチ教室	木製キューブパズル工作教室

しかし、仮設住宅や家庭の事情により思うように勉強できない子どもも半数近くいることが分かりました。また、遊ぶ環境も震災以降、激減。浸水した地区はもちろんのこと、被害を免れた公園や学校敷地内なども仮設住宅が建ち並び、道路状況など、子ども一人で遊びに行かせるには心配があり、十分に遊べる環境があるとは言えません。

イベント企画の立ち上げ

こうした結果から同団体は「もつと子どもたちが伸び伸びと遊べる場を、もつと子どもたち同士が触れ合える場を」と、イベントの実施を決意しました。同センター8人で活動を開始し、その中心となったのは、五十嵐幸太さん（5才）にインタビュー掲載。まず、初めに行ったのが、カリキュラムの内容を決めることでした。

カリキュラムは学習支援のほか、子どもたちがどんな体験をしたいかとアンケートで質問した回答を基に構成。内容は▼学校関係の補習▼さまざまな体験をする生涯学習▼夏休みの宿題サポート——の3つを主軸としました。

全国から応援の声が届く

子どもが体験したいカリキュ

ラムで同団体だけでは対応できないものもありました。そこで、ホームページの掲載や支援団体などへ参加を呼びかけました。その結果、企画に賛同した全国の個人や団体から参加したいと、応募がたくさんありました。

忘れられない夏休み

7月31日、豊間根生活改善センターでプレイイベント「マジック大会」が行われました。世界的マジシャンのソラさんのトラップやバルーンを使った多彩なマジックに子どもたちは驚きの連続。ソラさんが持つ大きな輪に子どもたちが配った小さな輪を一つ一つ通すマジックをしながら、「この輪だけでなく、みんなの気持ちもつながっているよ。みんなに会えてよかった」と、子どもたちに向けて温かい言葉を掛けました。

驚きと感動からスタートした「サマーチャレンジ」。子どもたちは時には講師の話に真剣な表情で耳を傾け、時には笑顔いっぱいでもうカリキュラムを楽しんでいました。子どもを思う保護者の一言から始まった今回のイベントは、同センター職員が“思い”を全国へ広げ、たくさんの人たちがそれに応えて実現。子どもたちにとって忘れられない夏休みとなりました。

「楽しく走る」をモットーに笑顔が絶えなかった陸上教室（写真左）／大学生と一緒に段ボールで家を作り、目を輝かせる子どもたち



思い

「サマーチャレンジ」のカリキュラムは、子どもたちへの思いが全国から幾重にも重なり実施されました。参加した子どもたちの思いは、支援ボランティアの思いとは。



静岡福祉大学教授

山城 厚生さん

現地と全国の力を若い世代に

今回、宿題サポートなどで静岡福祉大学の学生が参加しています。昨年、山田町に何度か足を運び、子どもたちの様子を見てきました。昨年と今とでは、状況も全く異なっています。子どもたち同士でも、集まってたくさんのお話をするのが大切です。こういったイベントに参加することで人と人とのつながりが生まれます。今回、現地の力と全国から集まった人の力はとても大きなものです。その力を若い世代に感じ取ってほしいです。



エンジェル ウィングス
NPO法人 ANGEL WINGS

染谷 誠さん

失敗を恐れない心を持ってほしい

プレーパーク体験という野外遊びの講師として参加しました。福岡県北九州市でも同様の事業を行っています。親子一緒に参加できる野外遊びは、自然の中でしか発見できないことやある物を工夫して楽しむという自然発生的な力を生み出すレクリエーションです。何かを作る時には失敗をすることもあります。しかし、その失敗の経験をして人は成長していきます。子どもたちには失敗を恐れない強い心を持ってほしいと願っています。



みえ災害ボランティア
支援センター

大河内 克巳さん

夢を持つ きっかけになれば

木工教室を手伝っていただけないかと建設労働組合を通じてお声が掛かり、組合で子どもたちの木工教室をしていた経験も

あったことと以前から東北の様子も見てみたいと思っていたので、参加しました。今回は、木工教室と美術教室で子どもたちと一緒にいすやマガジンラックを作り、大きなテントにも絵を描きました。子どもたちはとても活発で、初めて会った子たちでも協力しながらいすやマガジンラックを作っていたのが印象的でした。将来を担う子どもたちが今回の経験から大工になりたいなど、夢を持つきっかけになってくれればと思います。



左から梶山 謙介くん（山田南小・5年）、佐々木 将太くん（同・5年）、木澤 拓夢くん（同・5年）、福館 颯太くん（同・6年）

いっぱい走った 先生とまた走りたい

陸上教室に参加した山田南小の子どもたち。「震災前は遊ぶところがあつたけど、今は少なくて残念。でも、今日はいっぱい走ることができて、とても楽しかった。また一緒に先生と走りたい」と福館くん。



「サマーチャレンジ」開催中の五十嵐さんのひとコマ。五十嵐さんのところには子どもたちがいつも集まり「肩車して」とせがまれました。五十嵐さんは子どもたちとの距離を感じさせない人柄。常に周囲には笑顔があふれています。

楽しく遊び、学べる場を

山田町社協復興支え愛センター職員

五十嵐 幸太さん（船越・24）

子どもたちの遊ぶ場、学ぶ場が少ないというのは震災前と比べても歴然としていました。なんとか打開策はないかと、この企画がスタート。検討会では、お子さんがいる職員から保護者の立場での意見が出されました。それは「子どもには思いっきり遊んでほしい、でも町の様子を見るとどう

しても止めてしまう」というジレンマにも似た思いでした。この話を聞いて「震災があっても変わらずに楽しく遊び、学べる場所を」と、子どもたちに対する思いが強くなりました。カリキュラムにも多くの皆さんが応募してくれて、うれしかったです。そのため、1日2つを予定していたカリキュラムを3つにするなど、たくさんの

人たちの思いを子どもたちへ少しでも届けたいと、場所の確保や関係機関への連絡調整に力を入れました。皆さんのご協力が無事開催までたどりつくことができ、とても感謝しています。カリキュラムを行う子どもたちは、すごく楽しそうにしています。疲れを知らないくらい元気いっぱいでした。その様子を見て、このイベントを将来的に継続していきたいと思えました。夏といえば、「サマチャレ」と言われるくらいに子どもさんもおもしろくして色々な人を巻き込んで、まちづくりになげたいです。

山田町社協復興支え愛センターからのお知らせ

ボランティアスタッフを募集しています

山田町社協復興支え愛センターのボランティア活動は現在、小地域でのイベント・サロン活動や仮設住宅の環境に関する個別的なニーズ対応を主として活動しています。昨年度に比べると、ボランティアの人数は減ってきていますが、まだまだ支援を行わなければならない、スタッフが足りない状況です。

そこで、一緒にボランティア活動を行うスタッフを募集しています。ボランティア活動に興味のある人は、どうぞお申し込みください。

▷募集スタッフ

- ・配食サービススタッフ 65歳以上の一人暮らし、高齢者世帯などで調理が困難、食事に欠ける状況にある方へ、週に1回お弁当（料金は1食500円）を配達しながら安否確認を行います。
- ・写真のデジタル化ボランティア 津波で流された写真をきれいに洗浄した後、デジタル化（コンピューターへ

写真を保存する作業）を行います。

※デジタルカメラを所有している方は持参願います。

▷活動場所

- ・配食サービス 大浦、船越、間木戸、山の内のいずれかの地区
- ・写真のデジタル化作業 旧山田病院3階

▷活動日時

- ・配食サービス 毎週火・水・木曜日（1日のみも可能）
- ・写真のデジタル化作業 毎週月～金曜日（1時間からの作業も可能）

◆申込先・問い合わせ 山田町社協復興支え愛センター（☎77-3262）へどうぞ。

